

㊤ 大島6丁目団地自治会

みんなの会報

明るい団地は あいさつから

発行 大島6丁目団地自治会
編集 広報部・事務局
自治会事務所: 13時～17時(金・日・祝日休)
TEL: (3636) 6470 FAX: (3636) 6479
ホームページ: <http://www.6-dan.com>
メールアドレス: rokudan@road.ocn.ne.jp

ご用心!

URから警報器の点検等で来たということで、家に上がり込み、盗みをするという事件が起こっています。

URでは必ず、日程をお知らせして日にちが決まった時に行くようになっています。

それ以外では絶対に家に上げないようにお願いいたします。

URから住民の皆様へのお願い
自転車整理を実施します

令和5年4月より大島6丁目団地において自転車整理を実施します。

黄色い札がつけられている自転車については整理・撤去の対象になります。

対象自転車を所有している方は、1階の自転車置き場に移動するか、ご自分で撤去してください。

3・11を忘れないー
東日本大震災12年

The Unforgettable March 11. 12 years of the Great East Japan Earthquake and tsunami.

リサイクル還元品配布しました Recycled products have been distributed



はしりの春、3月13日からコロナ対策のマスクの着用が個人の判断に委ねられる事を政府が決定しました。一日前の3月12日(日)午前10時から12時まで、中央広場でリサイクル還元品を配布しました。

還元品はティッシュペーパー、トイレトペーパー、サトウのごはんを配布しました。

尚、当日に受け取れなかった方は、3月13日から自治会事務所でおわたし致します。配布の締め切りは4月8日までです。

江東区防災課長・係長と懇談

Meeting with the section manager of disaster prevention Koto-ku.

2月13日午後5時30分より3号棟集会所で、江東区防災課長の岩田勉氏と係長新居賢児氏と懇談。防災課長から「前任の課長のレポートの中に一昨年11月の6丁目団地との懇談の報告があり、それがきっかけで本日6丁目団地を訪ねた」と説明がありました。

防災課長から①水害発生時に一時避難施設の協定を結んでいる施設に、災害備蓄品の「簡易トイレ、アルミブランケット」を各棟50個(1個あたり500円)を支給。②江東区全世帯に、5000円相当の防災グッズがもらえるカタログギフトを配布——が令和5年度中に実施予定との説明がありました。

防災講座 4号棟で

Disaster prevention lecture at building no.4.

1月29日、午後2時から、4号棟の災害協力隊の主催で、防災講座が開かれた。講師は、防災コーディネーターの雪まゆみさん。参加者は15人。1号棟の人も来ていた。

今回のテーマは、「江東区・ハザードマップの基礎講座」。「洪水」「高潮」「大雨浸水」の三つのハザードマップがあること。江東区のホームページには4か国語でハザードマップが載っていること。「洪水」では、大島6丁目団地は水がひくのに「2週間以上かかる地域」。「高潮」では「1週間以上」になっていることも分かった。

「荒川氾濫」を想定したビデオを見て、洪水の場合、地下鉄などが水没することもある。

自治会役員の立候補を定員まで受け付けます。
お手伝いの方も歓迎です。

Looking for new jichikai members to help in society.

※団地まつりも4年ぶりに復活の見込みです。役員になって団地まつりを成功させましょう。

※防災活動も大事です。外国籍の方もぜひ役員になってください。

※防災、団地まつり、広報…お手伝いいただける方も大歓迎です。

※立候補状況(3月12日現在) 1号棟・0人、2号棟・2人、3号棟・2人、4号棟・3人、5号棟・6人、6号棟南・3人、6号棟北・3人、7号棟・1人/立候補計20人(定員26人)

あった。

自治会からは、ハザードマップと一緒に配布された防災ブックレットに「365日24時間利用」とあり、また江東区のホームページに「収容人数1万9000人」等と掲載されたことが居住者の不安と不信を大きくしているとし、収容人員の見直しを申し入れた。

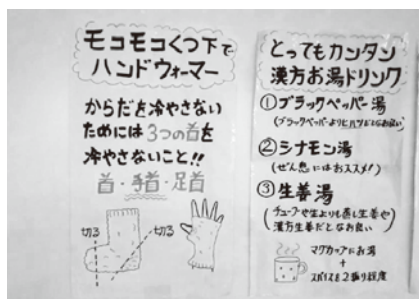
水害発生時に6丁目団地に避難している被災者に対し、「被災者が居れば必ず救援活動と救援物資は届ける」との回答をいただいた。

最後に、懇談の機会を定期的に年1〜2回は持たせたいと要望し、今後も、江東区防災課との話し合いを続けることにした。

なお、ホームページの一時避難の収容人数の項目は、2月下旬に削除された。

台風などで荒川の氾濫・洪水の危険があるとき、安全な地域へいち早く避難するか、自宅避難の場合は2週間を想定した覚悟と準備が必要だ、と強調された。

今回の講座は災害時のトイレがテーマ。



『50年のあゆみ』が出来ました

大島6丁目団地自治会は1971年12月に発足。自治会50周年記念誌『50年のあゆみ』(B5判40頁カラー)が出来ました。ご希望の方は自治会事務所まで申し出てください。(会員限定・先着300名様)

Column
やまびこ

新世界へ

★春は、多くの日本で暮らしている人が、新しい環境への期待と不安で心がそわそわするように感じられる。ほとんどの業界や学校で、一斉に4月をスタートにしている国は、世界的に見ても珍しい。

★日本人が好きな花は第一位が桜だ(2019年時点の調べ)。過ぎ去った「あの頃」の記憶がよみがえる、消えていく記憶の儚さを桜に見ているからだろうか。

★マスク着用とコロナの5類への移行等、徐々に制限が解除されつつあるが、お亡くなりになられた方々へご冥福をお祈り申し上げる。この3年間で働き方も大きく変わったと共に、色々な事が明らかになっていった。

★第一次緊急事態宣言が発出された頃、夜の電車に乗客も少なく、不気味な静けさが漂っていた。

私は仕事で感染症対策のマニュアル作成とお客様対応の忙しさでほぼ記憶がない。しかし、団地の桜が満開で、帰宅時の深夜の暗闇に浮き立つ美しさを独り占め出来た満足感は鮮明に覚えている。

★年の離れた友人が、高校では、ほとんど外の授業が出来なかったから、大学は、思いきりやりたい事をするんだと、マスクも外れてしまいうな笑顔で、目が輝いていた。

★コロナ前の世界の続きには戻らないだろう。自分で創造していく新世界へ羽ばたいていこう。(友)

